

長崎県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

選抜概要

- 長崎県の公立高校入試は主に前期選抜・後期選抜があります。

	出願期間	検査日	合格発表
前期選抜	1/13(木)~19(水)	2/2(水)	2/9(水)
後期選抜	2/17(木)~24(木)	3/8(火)・9(水)	3/16(水)

- 出願は、原則1校（1学科1コース）に限ります。出願先の変更はできません。（くくり募集を行う高等学校の関連学科への志願は、1学科志願とみなします。）普通科の通学区域は、前期A特色選抜と後期選抜において適用され、県南・県央・島原・県北・五島・壱岐・対馬の7学区です。普通科以外の学科に関しては、県全域が対象となります。

また、全日制の課程における普通科のうち、次のコースは県全域から志願できます。

- ・五島高等学校スポーツコース
- ・壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コース
- ・対馬高等学校国際文化交流科
- ・五島南高等学校夢トライコース
- ・奈留高等学校

前期選抜①

- 前期選抜には、主にA特色選抜、B文化・スポーツ特別選抜の2種類の選抜があり、全学科で、両方またはいずれかが実施されます。募集人員は全募集定員の5%~50%の範囲で各学校が学科別に定めますが、B文化・スポーツ特別選抜については、原則として募集定員の5%までの範囲となります。

[A 特色選抜]

各学校が示す「育成したい生徒像・求める生徒像」を理解し、当該高校で学ぶ意欲を持つ者を対象とします。

●選抜内容

①調査書…教科の評定に偏ることなく取り扱う

- ・観点別学習状況、その他の記載事項についても十分尊重する
- ・評定は、中学1~3年（3年間）の9科（5段階評価）が記載される

②学校採択による検査…基礎学力検査（国数英 各40点、計60分）

面接、プレゼンテーション、実技、作文・小論文・総合問題

※学校長が特に必要と認めた場合、面接、プレゼンテーション、小論文・総合問題の一部を英語で実施可能

調査書その他必要な書類、実施した検査の結果を活用し、各学校が検査項目の比重を定めて選抜を行い、合格者を決定します。

前期選抜②

[B文化・スポーツ特別選抜]

文化・スポーツの各種大会等で優れた実績を有する者又は部活動等で優れた資質や能力を有する者で、入学後も継続的に活動を希望する者を対象とした選抜となります。

実施する学校は県教育委員会により決定されます。

ただし、A特別推薦とB文化・スポーツ特別選抜を同時に志願することは出来ません。

●選抜内容

①調査書…教科の評定に偏ることなく取り扱う

- ・観点別学習状況、その他の記載事項についても十分尊重する
- ・評定は、中学1～3年（3年間）の9科（5段階評価）が記載される

②学校採択による検査…基礎学力検査（国数英 各40点、計60分）

面接、実技、作文・小論文・総合問題

調査書その他必要な書類、実施した検査の結果を活用し、各学校が検査項目の比重を定めて選抜を行い、合格者を決定します。

[離島留学特別選抜]

離島留学特別選抜は、調査書その他必要な書類、実施した検査の結果を活用し、各学校が検査項目の比重を定めて選抜を行い、合格者を決定します。出願の際、入学願書の他に志望理由書、離島留学誓約書などを提出します。

[離島留学特別選抜実施校]

- ・五島高等学校スポーツコース
- ・五島南高等学校夢トライコース
- ・壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コース
- ・対馬高等学校国際文化交流科
- ・奈留高等学校普通科(E-アイランド・スクール)

●前期選抜に志願し、合格内定とならなかった受検者は、各課程の選抜の手続きにより、改めて希望する高等学校に出願することが出来ます。

後期選抜

●募集定員は全募集定員から前期選抜の合格者を減じた人数となります。

●選抜資料

①学力検査…国語・社会・数学・理科・英語（各50分・各100点）

- ・学科等の特色に応じて、特定の科目に傾斜配点を用いることができる（1.5倍～2.0倍）

②面接

③調査書…教科の評定に偏ることなく取り扱う

- ・観点別学習状況、その他の記載事項についても十分尊重する
- ・評定は、中学1～3年（3年間）の9科（5段階評価）が記載される

●以上の資料を活用し、総合的に判定して、合格者を決定します。

その際、それぞれの資料の比重は各学校により定めるものとします。